

# 共存 CRS サーバから専用サーバへの RASCAL と VoIP サーバの移動

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[RASCAL および VoIP 専用サーバ](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Desktop RASCAL および VoIP サーバを、共存する Cisco Customer Response Solutions ( CRS ) サーバから Cisco IP Contact Center ( IPCC ) Express 環境の専用 Cisco Desktop RASCAL および VoIP モニタ サーバに移動する方法について説明します。

このドキュメントは、Cisco CRS サーバと Cisco Desktop Product Suite が共存していることを前提としています。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解する必要があります。

- Cisco CallManager
- Cisco CRS
- Cisco Desktop Product Suite

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager バージョン 3.x
- Cisco CRS バージョン 3.x

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してくだ

さい。

## 表記法

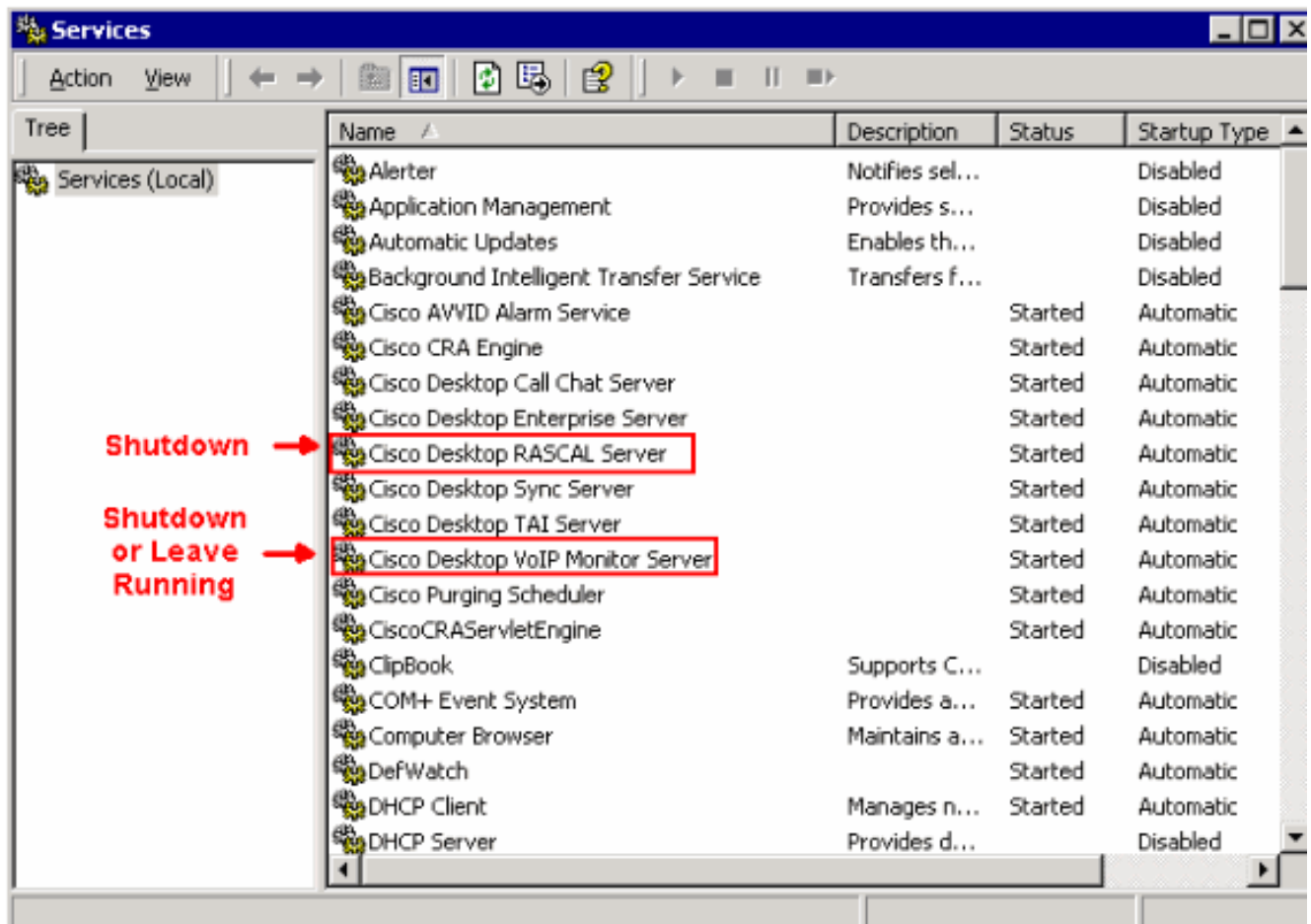
ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## RASCAL および VoIP 専用サーバ

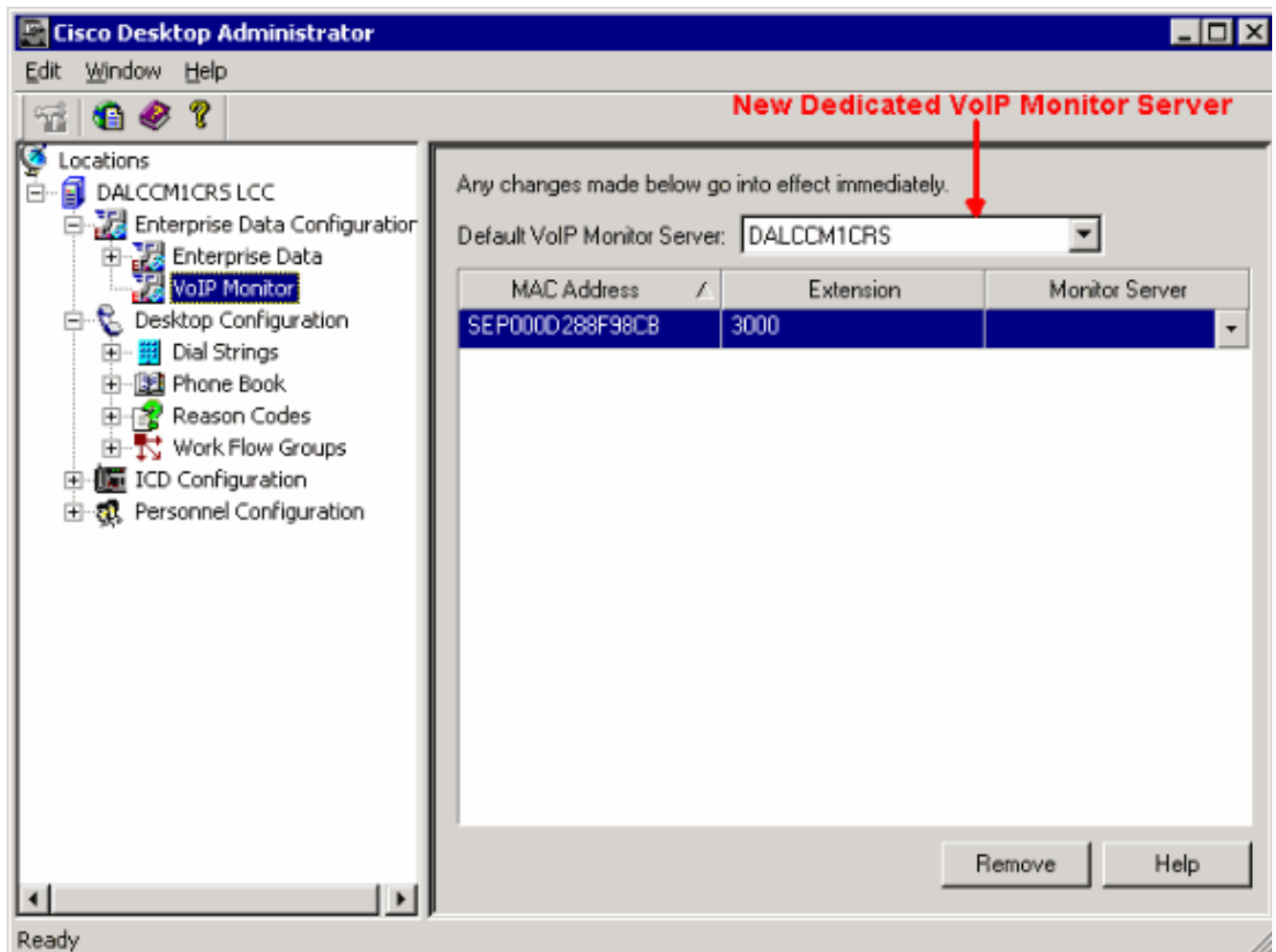
Cisco CRS Enhanced を実行する場合、1つの選択肢として、録音、音声モニタリング、および統合コール分配 (ICD) 統計情報の処理用に、専用サーバをセットアップすることができます。専用サーバを使用することで、CRS サーバはこれらの機能処理する必要がなくなり、CRS サーバの CPU リソースを節約できます。これらの変更を行う前に、『[Cisco Customer Response アプリケーションの概要](#)』の「付録 A」を参照してください。

RASCAL および VoIP サーバを、共存する CRS サーバから、RASCAL および VoIP 専用サーバに移動するには、次の手順を実行します。

1. 新しい RASCAL/VoIP 監視専用サーバのルート ディレクトリ下に、フォルダを作成します。
2. CRS サーバにある元のライセンス ファイルを、このフォルダにコピーします。
3. RASCAL および VoIP 監視専用サーバに CRS をインストールします。
4. [Cisco Customer Response Applications Component Distribution] ウィンドウが表示されたら、[VoIP Monitor server] と [ICD Recording Server] を選択します。注: 他のコンポーネントは選択しないでください。
5. CRS サーバで Cisco Desktop RASCAL サーバ サービスと VoIP サーバ サービスをシャットダウンします。注: VoIP 監視サーバ サービスは CRS サーバでそのまま実行しておいても構いません。図 1: サービス



6. Cisco Desktop RASCAL および VoIP 監視専用の新しいサーバで Cisco Desktop Administrator を実行し、デフォルトの VoIP 監視サーバを設定します。システムに VoIP 監視サーバが 1 つしかない場合、デフォルトの監視サーバを設定したり、各デバイスをその単一の監視サーバに手動で割り当てる必要はありません。その VoIP 監視サーバは、各デバイスが唯一使用できるモニタサーバとして、そのサーバに割り当てられているものとみなします。デフォルトの監視サーバを選択するのは、デバイスがいずれの監視サーバにも割り当てられていない状況を回避するためです。システムに複数の VoIP 監視サーバが存在する場合、このような事態が発生する可能性があります。注: [VoIP Monitor] ウィンドウで行った変更はただちに有効になります。詳細については、『[Cisco Desktop Administrator ユーザガイド](#)』のセクション 2 「エンタープライズデータ」を参照してください。図 2 : Cisco Desktop Administrator - 新しい VoIP 監視専用サーバ



## 関連情報

- [Cisco Customer Response アプリケーションの概要](#)
- [Cisco Desktop Administrator ユーザ ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)